



防災学習への意欲と ユーザビリティの向上



震度予想

指定した位置だけでなく、
広範囲の地図で確認可能



より近い避難所の提示

順位をつけることで
迷いを軽減



選択した避難所周辺

ストリートビューで
実際の場所を 360° 確認



津波浸水予想

地図の色と、文字とで
直感的に把握

TOP画面 (利用頻度の高い場所順に表示)

画面上部の地図の中心地をタップした後にアイコンをタップする事で、変更後の地点の防災情報に切り替わる。

目的・ターゲット

防災に関する基礎知識の少ない子供から
アプリケーションの操作に慣れないお年寄りまで、
自身の普段生活している地域における災害リスクや
避難所等の情報を把握し学習することを
日常的に行うことを目的とする。

既存アプリの問題点

いろんな機能が一つの画面
に集中していることが多い。
また、同じインターフェースに
多くの機能が集中していると
ユーザーの迷いに繋がっている。

情報が多
優劣がない

×

多機能



仕組み

追跡記録した位置情報履歴から
その人の生活圏を自動判別



生活圏に応じた
必要度の高い防災情報を抽出



シンプルでわかりやすい
ユーザーインターフェースで表示



シンプルな構造とアイコン
ストリートビュー画像による現実とのリンク
使用頻度によるボタン位置の優劣

今後の展望

鎌倉→全国版への拡大。

機能の充実化

システムの向上

- ・避難所までのナビゲーション
- ※ストリートビューで道を確認できる
- ・危険度に応じて情報の優劣を付ける